

平成 19 年 8 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 7 月 12 日

上場会社名 株式会社 U S E N (コード番号: 4 8 4 2 ヘラクレス)

(URL <http://www.usen.com/company/>)

問合せ先 代表者役職 氏名 代表取締役社長 宇野 康秀

責任者役職 氏名 取締役管理本部長 紺屋 勝成 TEL : (03) 6823-7017

1 四半期財務業績の概況の作成等に係る事項

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

・連結 (新規) 2 社 (除外) 10 社 ・持分法 (新規) 2 社 (除外) 1 社

公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2 平成 19 年 8 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 9 月 1 日 ~ 平成 19 年 5 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨て表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 8 月期第 3 四半期	227,992	84.1	10,534		6,309		1,883	52.6
18 年 8 月期第 3 四半期	123,862	10.2	1,053	81.7	2,153		1,234	
(参考)18 年 8 月期	182,009		3,530		3,640		8,889	

	1 株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 8 月期第 3 四半期	16	89		
18 年 8 月期第 3 四半期	16	41		
(参考)18 年 8 月期	115	48		

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。
 2. 前期末の潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、当期純損失が計上されているため記載しておりません。
 3. 当四半期及び前年同期の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期連結会計期間(自平成 18 年 9 月 1 日至平成 19 年 5 月 31 日)における当社グループは、安定的な収益源である放送事業、カラオケ事業、ブロードバンド・通信事業において、市場シェアの維持、そして更なる拡大を図るべく、営業活動の見直しを行うなど、積極的に取り組んでまいりました。

一方、今後中核事業への成長が見込まれる映像・コンテンツ事業におきましては、「メディア・コンテンツ・カンパニー(Media Contents Company)」ビジョンのもと、グループ会社の持つリソースの有効活用などによる、グループシナジーの最大化を図ってまいりました。

このような状況の中、当第 3 四半期連結会計期間の業績は、売上高 227,992 百万円(前年同期比 84.1%増)、営業利益は 10,534 百万円(前年同期営業利益 1,053 百万円)、経常利益は 6,309 百万円(前年同期経常損失 2,153 百万円)、また、四半期純利益につきましては 1,883 百万円(前年同期比 52.6%増)となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年8月期第3四半期	344,809	108,376	25.7	653 01
18年8月期第3四半期	306,811	32,643	10.6	499 36
(参考)18年8月期	376,075	72,629	13.4	497 09

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ31,265百万円減少の344,809百万円となりました。流動資産は、主として現金及び預金が14,541百万円減少、受取手形及び売掛金が6,545百万円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ24,666百万円減少いたしました。

また、固定資産は、主としてのれんが8,749百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ6,599百万円減少いたしました。

負債に関しましては、主として短期借入金が25,200百万円減少、社債が27,117百万円減少、長期借入金が22,117百万円減少したこと等により前連結会計年度末より67,012百万円減少し236,433百万円となりました。

また、純資産に関しましては、主として資本金が12,500百万円増加、資本剰余金が23,677百万円増加したことにより前連結会計年度末より35,747百万円増加し、108,376百万円となりました。

3 平成19年8月期の連結業績予想（平成18年9月1日～平成19年8月31日）

平成18年10月19日に発表いたしました通期業績予想に変更はありません。

添付資料

- ・ 四半期要約連結貸借対照表
- ・ 四半期要約連結損益計算書
- ・ 四半期連結株主資本等変動計算書
- ・ セグメント別売上高の状況

以 上

四半期連結財務諸表

四半期要約連結貸借対照表

期 別 科 目	前第3四半期 連結会計期間末 平成18年5月31日現在		当第3四半期 連結会計期間末 平成19年5月31日現在		前連結会計年度 要約連結貸借対照表 平成18年8月31日現在	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)						
流動資産						
1 現金及び預金	38,310		48,569		63,111	
2 受取手形及び売掛金	30,574		35,393		41,938	
3 有価証券	-		-		115	
4 たな卸資産	18,254		11,618		15,839	
5 繰延税金資産	5,066		5,225		5,861	
6 その他	28,847		28,610		27,613	
7 貸倒引当金	1,712		2,389		2,785	
流動資産合計	119,340	38.9	127,028	36.8	151,694	40.3
固定資産						
1 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	32,946		40,676		36,775	
(2) 土地	35,971		38,092		39,981	
(3) その他	18,030	86,948	15,430	94,198	17,892	94,648
2 無形固定資産						
(1) 連結調整勘定	32,627		-		-	
(2) のれん	-		72,100		80,850	
(3) その他	11,085	43,712	15,065	87,166	11,113	91,964
3 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	31,729		6,134		8,058	
(2) 繰延税金資産	2,774		2,463		6,100	
(3) その他	31,616		39,035		33,429	
(4) 貸倒引当金	9,317	56,803	11,216	36,416	9,821	37,767
固定資産合計	187,464	61.1	217,781	63.2	224,380	59.7
繰延資産	6	0.0	-	-	-	-
資産合計	306,811	100.0	344,809	100.0	376,075	100.0

期 別 科 目	前第3四半期 連結会計期間末 平成18年5月31日現在		当第3四半期 連結会計期間末 平成19年5月31日現在		前連結会計年度 要約連結貸借対照表 平成18年8月31日現在	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)						
流動負債						
1 支払手形及び 買掛金	20,369		15,591		24,485	
2 設備等支払手形	822		279		867	
3 短期借入金	43,932		23,365		48,565	
4 1年以内償還予定 社債	1,500		1,500		1,500	
5 1年以内返済予定 長期借入金	22,345		27,788		25,290	
6 未払金	13,969		22,382		18,703	
7 前受金	10,754		10,349		10,278	
8 預り金	-		18,143		-	
9 賞与引当金	2,551		2,919		2,458	
10 債務保証損失 引当金	2		8		72	
11 不要電線撤去等損 失引当金	-		254		2,267	
12 その他	19,597		13,876		19,650	
流動負債合計	135,843	44.3	136,458	39.6	154,140	41.0
固定負債						
1 社債	28,500		1,754		28,871	
2 長期借入金	75,688		81,136		103,254	
3 退職給付引当金	7,337		6,202		7,615	
4 不要電線撤去等損 失引当金	-		1,684		1,894	
5 その他	8,769		9,197		7,670	
固定負債合計	120,295	39.2	99,975	29.0	149,305	39.7
負債合計	256,138	83.5	236,433	68.6	303,446	80.7

期 別 科 目	前第3四半期 連結会計期間末 平成18年5月31日現在		当第3四半期 連結会計期間末 平成19年5月31日現在		前連結会計年度 要約連結貸借対照表 平成18年8月31日現在	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(少数株主持分)						
少数株主持分	18,029	5.9	-	-	-	-
(資本の部)						
資本金	35,845	11.7	-	-	-	-
資本剰余金	22,197	7.2	-	-	-	-
利益剰余金	27,458	9.0	-	-	-	-
その他有価証券 評価差額金	2,035	0.7	-	-	-	-
為替換算調整勘定	25	0.0	-	-	-	-
自己株式	2	0.0	-	-	-	-
資本合計	32,643	10.6	-	-	-	-
負債、少数株主 持分及び資本合計	306,811	100.0	-	-	-	-
(純資産の部)						
株主資本						
1 資本金	-	-	63,406	18.4	50,906	13.5
2 資本剰余金	-	-	61,467	17.8	37,789	10.0
3 利益剰余金	-	-	36,276	10.5	38,112	10.1
4 自己株式	-	-	149	0.0	2	0.0
株主資本合計	-	-	88,447	25.7	50,580	13.4
評価・換算差額等						
1 その他有価証券評 価差額金	-	-	1	0.0	35	0.0
2 繰延ヘッジ損益	-	-	2	0.0	0	0.0
3 為替換算調整勘定	-	-	35	0.0	14	0.0
評価・換算差額等 合計	-	-	34	0.0	22	0.0
新株予約権	-	-	2	0.0	-	-
少数株主持分	-	-	19,892	5.7	22,070	5.9
純資産合計	-	-	108,376	31.4	72,629	19.3
負債純資産合計	-	-	344,809	100.0	376,075	100.0

四半期要約連結損益計算書

期 別 科 目	前第3四半期連結会計期間 自 平成 17 年 9 月 1 日 至 平成 18 年 5 月 31 日			当第3四半期連結会計期間 自 平成 18 年 9 月 1 日 至 平成 19 年 5 月 31 日			前連結会計年度 要約連結損益計算書 自 平成 17 年 9 月 1 日 至 平成 18 年 8 月 31 日		
	金額 (百万円)		百分比 (%)	金額 (百万円)		百分比 (%)	金額 (百万円)		百分比 (%)
売上高		123,862	100.0		227,992	100.0		182,009	100.0
売上原価		71,550	57.8		125,714	55.1		107,680	59.2
売上総利益		52,311	42.2		102,278	44.9		74,329	40.8
販売費及び 一般管理費		51,258	41.3		91,743	40.3		70,798	38.9
営業利益		1,053	0.9		10,534	4.6		3,530	1.9
営業外収益		1,027	0.8		1,168	0.5		1,387	0.8
営業外費用		4,234	3.4		5,393	2.4		8,559	4.7
経常利益(損失)		2,153	1.7		6,309	2.7		3,640	2.0
特別利益		15,139	12.2		21,805	9.6		18,665	10.2
特別損失		10,524	8.5		14,535	6.4		20,392	11.2
税金等調整前 第3四半期(当期) 純利益(損失)		2,461	2.0		13,579	5.9		5,368	3.0
法人税、住民税 及び事業税	262			3,247			463		
法人税等調整額	711	973	0.8	4,834	8,081	3.5	1,908	2,372	1.3
少数株主利益		252	0.2		3,614	1.6		1,148	0.6
第3四半期(当期) 純利益(損失)		1,234	1.0		1,883	0.8		8,889	4.9

四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期連結会計期間（自平成18年9月1日 至平成19年5月31日）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年8月31日残高 (百万円)	50,906	37,789	38,112	2	50,580
当第3四半期中の変動額					
増資による新株の発行	12,500	12,500			25,000
株式交換による変動額		11,686	47	146	11,492
剰余金の配当		508			508
第3四半期純利益			1,883		1,883
自己株式の取得				0	0
株主資本以外の項目の当第3四半期中の変動額(純額)					-
当第3四半期中の変動額合計 (百万円)	12,500	23,677	1,836	147	37,867
平成19年5月31日残高 (百万円)	63,406	61,467	36,276	149	88,447

	評価・換算差額等				新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	繰延ヘッ ジ損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成18年8月31日残高 (百万円)	35	0	14	22	-	22,070	72,629
当第3四半期中の変動額							
増資による新株の発行				-			25,000
株式交換による変動額				-			11,492
剰余金の配当				-			508
第3四半期純利益				-			1,883
自己株式の取得				-			0
株主資本以外の項目の当第3四半期中の変動額(純額)	36	2	21	56	2	2,178	2,119
当第3四半期中の変動額合計 (百万円)	36	2	21	56	2	2,178	35,747
平成19年5月31日残高 (百万円)	1	2	35	34	2	19,892	108,376

前連結会計年度（自平成 17 年 9 月 1 日 至平成 18 年 8 月 31 日）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成 17 年 8 月 31 日残高 （百万円）	35,845	27,510	33,854	2	29,498
連結会計年度中の変動額					
持分法適用会社の変動による 増加高			602		602
新株の発行	15,060	15,060			30,121
剰余金の配当		752			752
当期純損失			8,889		8,889
自己株式の取得				0	0
欠損てん補による取崩		4,029	4,029		-
株主資本以外の項目の連結会 計年度中の変動額（純額）					-
連結会計年度中の変動額合計 （百万円）	15,060	10,278	4,257	0	21,081
平成 18 年 8 月 31 日残高 （百万円）	50,906	37,789	38,112	2	50,580

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	繰延ヘッ ジ損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成 17 年 8 月 31 日残高 （百万円）	1,358	-	58	1,300	10,774	41,573
連結会計年度中の変動額						
持分法適用会社の変動による 増加高				-		602
新株の発行				-		30,121
剰余金の配当				-		752
当期純損失				-		8,889
自己株式の取得				-		0
欠損てん補による取崩				-		-
株主資本以外の項目の連結会 計年度中の変動額（純額）	1,394	0	73	1,322	11,296	9,974
連結会計年度中の変動額合計 （百万円）	1,394	0	73	1,322	11,296	31,056
平成 18 年 8 月 31 日残高 （百万円）	35	0	14	22	22,070	72,629

第3四半期 セグメント別売上高の状況

	18年8月期第3四半期 (前年同四半期)	19年8月期第3四半期 (当四半期)	対前年 同期増 減率 (%)	参 考 前期(通期)
	金額(百万円)	金額(百万円)		金額(百万円)
放送事業	46,833	46,349	1.0	62,535
ブロードバンド・通信事業	23,754	31,578	32.9	33,893
カラオケ事業	34,432	36,001	4.6	49,310
映像・コンテンツ事業	15,914	16,362	2.8	23,372
業務用システム事業 (注) 1	-	16,840	-	8,996
人材関連事業	-	79,907	-	-
店舗事業 (注) 2	2,087	-	-	2,717
その他事業	1,330	3,268	145.7	1,968
消去又は全社	491	2,316	-	785
合 計	123,862	227,992	84.1	182,009

(注) 1. (株)アルメックスのプラントエンジニアリング事業部門を事業譲渡したため、「業務用システム・プラント事業」は「業務用システム事業」に名称変更しております。

2. 前連結会計年度まで事業区分に含めていた店舗事業については、当該事業を譲渡したため、事業区分から除外しております。

<放送事業>

有線及び衛星による多チャンネル音楽放送を主とする放送事業は、飲食店等の業務店数が減少していることや、個人市場では新たな視聴環境の多様化から、マーケットは縮小傾向にあり、当第3四半期連結会計期間末におけるユーザー数は、業務店ユーザーが725,874件、個人ユーザーが425,287件、合計で1,151,161件(前年同期比3.7%減)となりましたが、依然として、有線放送市場における圧倒的なシェアを継続しております。また、通信衛星による音楽放送サービス「SOUND PLANET」がご好評を頂いており、増加傾向を続けております。

その結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は46,349百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

<ブロードバンド・通信事業>

当第3四半期連結会計期間末における光ファイバー・ブロードバンドサービスのユーザー数は、取付数613,304件(前年同期比22.3%増)となっております。ブロードバンド市場におけるユーザーのサービス認知が向上したことに加え、ADSLよりも安価な価格設定をとったサービス「GyaO光」の加入促進により、ユーザー数は増加傾向を続けております。また、NTT(日本電信電話(株))の光ファイバー網(Bフレッツ)と当社ISPをセットにした「GyaO光 with フレッツ」の拡販を図るなど、更なる黒字幅の拡大を目指してまいりました。

また、法人ユーザーに対しては、自社営業のみならず様々な販売パートナーを通じて、顧客開拓を行っております。その結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は31,578百万円(前年同期比32.9%増)となりました。

<カラオケ事業>

当社グループのカラオケ事業は、連結子会社である㈱BMBが中心となって事業運営しており、業務用通信カラオケの企画・開発・MIDIデータ作成(1)・機器販売・機器賃貸・楽曲データの配信・保守に至るまでを一貫して行い、加えて直営によるカラオケルームの運営を行っております。

当第3四半期連結会計期間におけるカラオケ市場は、ナイト市場の漸減によりマーケット全体の通信カラオケ台数も減少傾向で推移する中、旧機種からの買い替え需要は継続しており、また、デイ市場を中心に新業態への進出が図られる等、新たな展開がなされております。このような情勢の中、当グループにおきましては、「uga plus」、「UGA」、「UGA neonR2」、「UGA RAKUEN(楽宴)」の「UGA」シリーズを中心に、全市場に対する積極的な商品販売及び、「UGA」ブランドの更なるシェア拡大を図る展開してまいりました。

カラオケルーム運営におきましては、既存業態での新規出店及び、昨年末に当社より譲渡した店舗フォーマット「BoraBora(ボラボラ)」を含めた新業態の施設づくりを推進し、今後の店舗出店計画の下地が出来ました。既存店舗においては、従業員教育の徹底とサービスの向上を図る一方で販売管理費の削減等を引き続き実施し、さらなる効率的な事業運営に努めてまいりました。

また、中国市場においては、店舗事業はスタイルの異なる3店舗の収益モデルの確立に勤め、機器販売事業は販売チャネルの整備が整い、周辺機器を積極的に販売する事により、同国におけるBMBブランドの浸透、拡販体制の強化を図りました。

その結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は36,001百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

<映像・コンテンツ事業>

当社グループは、ブロードバンド市場の普及拡大に伴い、ブロードバンドインフラ上に流通するコンテンツサービスに対するユーザーニーズが急速に増加してくるものと認識しており、当社グループにおいて、このデジタルコンテンツの流通及びそれに付随したサービスを映像・コンテンツ事業と位置づけ、今後、核となる事業へ成長すると見込んでおります。

放送事業における音楽コンテンツの提供をはじめとして、映像コンテンツの配信、インターネット音楽ダウンロードサイトの運営等、様々なメディアに対し、優良なコンテンツをあらゆる顧客に対していつでもどこでも提供し、メディアの持つ大きな影響力と、コンテンツの圧倒的な制作力と獲得力を持った「メディア・コンテンツ・カンパニー(Media Contents Company)」ビジョンのもと、事業を展開しております。

平成17年4月に開始いたしました完全無料ブロードバンド放送「GyaO」は、順調に視聴登録者数を伸ばし、平成19年2月より販売しておりますSTB(2)「ギャオプラス」も大変ご好評をいただいております。今後もテレビモニターなどを使った新しい視聴環境の提案を図ってまいります。また、収益機会の拡大を目指し、「Ongen 動画」を平成19年5月30日よりサービス開始いたしました。

一方、映画配給を行っております㈱ギャガ・コミュニケーションズにおいては、平成19年4月に公開した『パベル』が順調な伸びを見せたものの、他作品は計画に届かず、売上の押し上げには至りませんでした。

その結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は16,362百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

<業務用システム事業>

当社グループにおきましては、(株)アルメックスが業務用システム事業を行っております。当第3四半期連結会計期間において、病院、ビジネスホテル及びレジャーホテル向け各セクションで、計画を上回る結果となりました。また、レジャーホテル部門については、より質の高いメンテナンス体制を実現する為に、平成19年3月より業界初のコールセンターの試験運用を開始し注目を集めています。

その結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は16,840百万円となりました。

なお、業務用システム事業は、(株)アルメックスの株式取得に伴い前連結会計年度末より新設しているため、前年同期比の記載を省略しております。

<人材関連事業>

当社グループにおきましては、(株)インテリジェンスが人材関連事業を行っております。当第3四半期連結会計期間におけるマーケットの概況は、各社が新卒採用に注力していたため、4月の中途採用には一服感が見られたものの、5月以降は全般的に求人需要が旺盛な状態が続きました。併せて、平成19年1月にスタートいたしましたDODAサイトのユーザビリティの向上により、利用者が増加するなど人材紹介事業におきまして、順調な利益成長をしております。

その結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は79,907百万円となりました。

なお、人材関連事業は、(株)インテリジェンスの株式取得に伴い前連結会計年度末より新設しているため、前年同期比の記載を省略しております。

<その他事業>

その他事業においては、放送事業における業務店顧客に対し、店舗運営の支援となる商材やサービスの提供を行っております。具体的には、各種音響・映像機器の販売や設置、食材流通サービスの提供、金融商品の提供など、多岐にわたります。

その結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は3,268百万円(前年同期比145.7%増)となりました。

1 MID!データ作成...(楽曲のデジタルデータ化)

MID!(Musical Instruments Digital Interface)はパソコン等と接続してデジタル音源情報をやりとりするための規格である。

顧客先に設置してあるカラオケ機器に、電話線などの通信回線を媒体として楽曲を配信する為に音源をデジタルデータ化すること。

2 STB...(Set Top Box)

テレビ受信機をネットワークに接続して双方向通信を実現するような家庭用通信端末の総称。